

トラック協会は事故防止・交通安全、環境対策及び災害防止に取り組んでいます

トラック奈良

2017
(平成29年)

1

No.273



御神鶏



石上神宮

公益社団法人 奈良県トラック協会

<http://narata.or.jp>



年頭のご挨拶	2
第3回総務委員会	8
第256回理事会	9
第2回適正化実施対策委員会	11
第3回交通安全・労災防止対策委員会	13
安全性優良事業所奈良運輸支局長表彰	15
環境キャンペーン	16
グリーン経営促進研修会	17
第52回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会	18
トラックドライバーの健康管理セミナー	19
名阪国道の冬期間の安全快適な交通確保	20
奈良地域 献血活動	21



■ 全ト協から

軽油価格調査集計表(2016年10月) 22

■ 奈ト協から

「適正化事業・巡回指導報告書」 23

1月・2月の行事(予定)表 24

事業用自動車事故事例No.16 25

KIT事業のご案内 26

■ 近畿交通共済から

近畿交通共済からのお知らせ 27

■ 奈良県警察本部から

奈良県警察本部からのお知らせ 28

■ 奈ト協から

トラック運送事業は安全が最優先

- ・ 辻本運輸株式会社 29
- ・ 有限会社奈良名勝運輸 30

Pictures of the year 2016 31

奈良県社会福祉協議会へチャリティ募金を寄付 32

2016 Back Number 巻末



謹んで新春の お慶びを申し上げます

平素のご厚情を感謝し皆様のご健康と
ご繁栄を心からお祈り申し上げます
何卒本年もよろしくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます

平成二十九年 元旦

会 長	森本	万司
副会長	清水	益成
副会長	中	秀夫
副会長	塚本	哲夫





奈良県知事
荒井 正 吾

公益社団法人奈良県トラック協会の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素より、安全のための取り組み・サービスの向上・環境対策など、運送業界に課せられた公共的、社会的使命を達成するための活動に取り組んでいただいておりますことに、敬意を表する次第です。

また、昨年は熊本地震に際し、貴協会と奈良県との「災害発生時における物資等の緊急輸送に関する協定書」に基づき、救援物資の緊急輸送に迅速にご対応いただくとともに、運輸事業振興助成交付金を活用した奈良県の広報や高齢者・子どもに対する交通安全の啓発などの提案事業への取り組みなど、県行政に多大なお力添えをいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、米大統領選を始めとして、世界の政治経済において出来事が多い年でした。わが国の政治経済も変動が続いていますが、奈良県におきましては、しっかりとした歩みで豊かで住みよい奈良が実現できるよう、精一杯まじめにこつこつと頑張っています。

まず、オリンピックに向けた観光地奈良の整備として、奈良市内の県営プール跡地周辺では、世界最高級ホテルのJWマリオットの進出が決まり、天平風の屋外多目的広場や大会議室等の建設が始まります。また、奈良公園内の吉城園周辺等では、従来の風情を堅持したまま高級感のある低層ホテルを整備する活動を開始し、奈良公園の玄

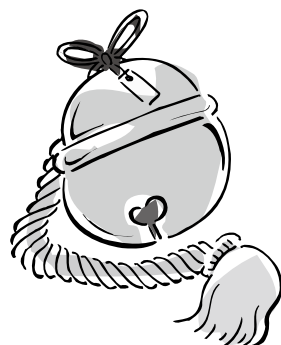
関口では（仮称）登大路バスターミナルの建設、平城宮跡朱雀門前では実物大遣唐使船を設置する観光交流拠点の建設が始まっています。奈良の南北のアクセスを向上させる京奈和自動車道大和御所道路については、御所南IC～五條北IC区間の今夏開通を目指し、国と一体となって整備を進めています。

次に、文化で賑わう奈良づくりとして、本年は奈良県で初めての実施となる国民文化祭を、全国で初めて障害者芸術・文化祭と一体開催し、これまでの奈良県大芸術祭と合わせてユニークな文化事業に取り組みます。天理市には、子どもたちの芸術活動、文化財の修復等の拠点となる（仮称）奈良県国際芸術家村の開設を予定しています。また、平城宮跡の冬のイベント「奈良大立山まつり」や、「ムジークフェストなら」など、奈良らしい文化の催しで多くの観光客をおもてなしいたします。

また、県と市町村が対等の立場で協働のプロジェクトを進める奈良モデルは、その成果が見えてきており、奈良の更なる発展につながっています。例えば、南和12市町村と県の協働の病院「南奈良総合医療センター」は好調な滑り出しを見せました。県と市町村が連携・協働してまちづくりを行う取り決めも16市町村と締結され、様々な具体的プロジェクトが動き始めています。

これからも、県民の皆さまのご意見やご提案にしっかり耳を傾け、皆さまとともにより良い奈良の未来を築いていきたいと考えております。今後とも奈良県経済の発展に向け、県政へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、今年が明るく希望に満ちた年となりますよう、そして皆さま方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。





近畿運輸局長
若 林 陽 介

新年、あけましておめでとうございます。

平成29年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。私も、着任して半年あまりが経過し、交通・観光の切り口から、関西の現場で様々な事業者の方々、地方公共団体の方々、住民の方々とともに仕事をさせていただく中で、地域の魅力を再認識するとともに、新たな年を迎えるにあたって、関西を元気にしたいとの思いを一層強くしているところです。

我が国は、「人口減少、少子高齢化」、「国際競争の激化」など多様かつ重大な課題に直面しており、関西も例外ではありません。京阪神に本社機能をおく法人数の全国シェアは減少し、ヒト・モノの流れを支えるインフラ整備も十分とは言えず、関西の相対的地位の低下・東京一極集中からの脱却は喫緊の課題です。

近畿運輸局としましても、交通・観光分野を中心に、豊かで活力ある地域づくりを進め、関西の発展に貢献するべく、様々な課題に積極的に取り組んでまいります。

まず、事業用自動車については、平成21年3月に取りまとめた「事業用自動車総合安全プラン2009」及び「近畿グリーンナンバーセーフティプラン2010」により策定した事故削減目標を早期に達成するため、バス、タクシー、トラック等の関係団体と協力のもと各施策に取り組んでいるとこ

ろですが、人身事故件数は着実に減少しているものの、死者数については横ばい状況であることから、更なる事故防止対策を講じるとともに、引き続き自動車運送事業の安全価値対策を積極的に推進してまいります。

物流については、荷主と運送事業者との連携の重要性を踏まえ、契約の書面化等、事業の健全化に向けた適正取引の推進を継続するほか、近畿各府県に設置した「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」を通じて、重大な事故につながる恐れのある長時間労働の抑制等、労働環境改善の取組みを引き続き進めてまいります。

交通環境対策については、温室効果ガス排出量削減のための各種施策に取り組んでまいります。特に、通勤手段をマイカーから環境負荷の少ない公共交通機関等へ転換する「エコ通勤」や、企業が環境負荷の少ない事業運営を目指す「グリーン経営」を推奨してまいります。

また、天然ガスやハイブリッドトラック等の環境対応車の普及等トラック輸送の環境対策を促進するため、引き続き近畿スマートエコ・ロジ協議会に関する取組みを進めてまいります。

運輸事業振興助成交付金については、平成23年の法制化以降の働きかけにより、複数の府県で満額交付への改善が見られましたが、引き続き府県に対して法律に基づいた交付措置を働きかけてまいります。

以上、新しい年を迎え、所信を申し述べましたが、交通・観光の分野において、安全・安心の確保、地域公共交通の確保・維持、交通の利便性の向上等を通じて、関西の発展と、皆様の豊かで快適な生活の実現に貢献してまいりたいと考えております。

今後も、当局の行政に関し、皆様方からの一層のご支援、ご協力をいただくよう心からお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



奈良労働局長
吉 野 彰 一

あけましておめでとうございます。旧年中は、奈良労働局の行政運営に格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新年を迎え、職員一同、心も新たに、働く人々すべてが安全で安心できる全員参加の社会の実現に向け、全力を挙げてまいります。

奈良労働局は奈良県における総合的な労働行政機関として、県民の期待に応えるべく、雇用情勢の変化や労働環境の変化に即応した労働行政を一体的に展開しています。

本年も働く方々の安全や健康、そして生活を守るため、次の施策を中心に取り組んでまいります。

第一に、「働き方改革」の推進などを通じた労働環境の整備・生産性の向上の実現にむけて、奈良労働局としても積極的に取り組んでまいります。

昨年には、労働局の組織の見直しを行い、雇用環境・均等室を設置しました。この組織見直しにより、「長時間労働の削減」「年次有給休暇の取得促進」「女性の活躍推進」などの企業・経済団体への働きかけをワンパッケージで効果的に実施することで、施策を推進しております。

また、県との連携をさらに強化し、県内労働者の労働環境や処遇の改善にむけ総合的な取組を進めていくことで、労使双方にとって有益な関係づくりを進めていきたいと考えております。

働き方改革の実現にあたっては、長時間労働の削減、年次有給休暇取得促進を進めていくことが重要です。

平成27年7月に設置された「トラック輸送における取引環境・労働時間改善奈良県地方協議会」も、昨年で4回目の開催となりました。また、昨年は、発荷主、着荷主、元請運送事業者及び実運送事業者で構成されるトラック運転者の労働時間短縮等職場環境改善に向けたパイロット事業が新たに開始され、協議会においても、当該事業の進め方等について、活発な議論が交わされました。

物流の要となるトラック運転者の労働環境の改善は、奈良県内の経済活性化のため不可欠なものであり、今後も、協議会における議論を通じ、トラック運転者の方々の職場環境の整備をより一層進めていきます。

労働災害の防止も重要な課題です。県内の労働災害は、昨年は増加傾向を示し、特に労働者が亡くなる重篤な労働災害が大幅に増加しました。陸上貨物運送事業においては、11月末現在、昨年同時期と比較し、死傷病者は減少しており、会員の皆様の取組み、御協力に厚くお礼申し上げます。

しかしながら、未だ多くの労働災害が発生している現状に変わりはありません。陸上貨物運送事業での労働災害のうち、特に高い割合を占めているのが荷役作業時の災害です。また、年末から年度末にかけては、交通事故が多発する傾向にあります。会員の皆様におかれましても、安全な職場づくりの実現に向けて、なお一層お取り組みいただきますよう改めてお願い申し上げます。

以上のように、私どもが取り組む課題は山積していますが、これらに的確に対処すべく、引き続き職員一丸となって業務を遂行してまいりますので、これまで以上に、皆様方の御支援と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が貴協会並びに会員の皆様方にとって輝かしい繁栄の年でありますように心から祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



奈良県警察本部交通部長
森 脇 祐三郎

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人奈良県トラック協会の皆様には、輝かしい新年を迎えられ、益々御盛栄 のこととお慶び申し上げます。

昨年中は、警察活動に深い御理解と多大な御支援、御協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の県下の交通情勢につきましては、二輪車・原付車による交通死亡事故が大幅に増加し、さらに7月に2年ぶりとなる交通死亡事故多発警報が発令されるなど、交通死亡事故を十分に抑え込めていない非常に厳しい状況にありました。

昨年の交通死亡事故を分析したところ、65歳以上の高齢者が死者の半数近くを占めるというこれまでの状況に変わりなく、依然として高齢者の交通事故防止対策が重要であるとともに、高齢者による自転車・二輪車（原付車を含む）が関係する交通死亡事故が多発傾向にあることから、併せてこれら自転車・二輪車の交通事故防止対策も重要な課題となっております。

このような状況を踏まえ、県警察では、

- 高齢者及び子供の安全確保
- 歩行者、自転車及び生活道路対策
- 交通実態等を踏まえたきめ細やかな対策を中心とした対策を推進してまいりたいと考えております。

皆様におかれましては、

- 歩行者、自転車を意識した安全確認や横断歩道等における歩行者等優先の徹底
- 交通事故発生マップ（奈良県警ホームページに掲載）等を活用した交通事故多発地点等の把握

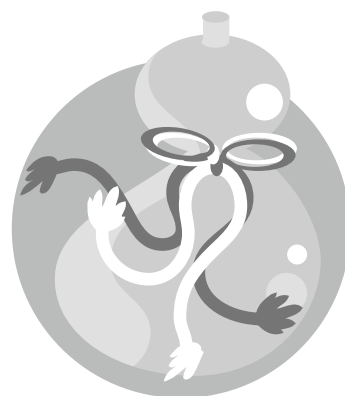
○ 運転者に対する危険予測トレーニングの実施

○ 薄暮時における前照灯の早め点灯（暗くなる前に点灯）

○ 夜間に歩行者等を早期発見するため、ハイビームの有効活用

を徹底させるなど、安全かつ快適な交通の確保に向け、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御多幸と御健勝を祈念申し上げて新年の御挨拶とさせていただきます。





公益社団法人 奈良県トラック協会
会長 森 本 万 司

新年明けましておめでとうございます。

今年は酉年で、元旦の鶏の第一声を「初鶏（はつとり）」といい、いつも聴く鶏の鳴き声も元旦に聞くとあらたまった気分になるものです。2017年は、丁酉（ひのととり）で「丁」には「安定する」、「実る」という意味があることから、会員事業者の皆様にとって、より良き年にしていきたいと考えています。

トラック運送業界の景況感は、原油安等が後押ししたものの国内消費の低迷等が物流に影響を与え、依然として苦しい状況が続いていると思われます。また、業界の就業者全体に占める中年層の割合が高く、若者の層が極端に少ない構成となっており、ドライバーの不足感が強まっているなか、若者・高校新卒者の就職促進にも結びつく新免許区分として、準中型免許が3月から新設されることとなりました。

トラックの初任運転者に対する教育の強化を図るため、「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」が一部改正され、トラックの初任運転者に対する安全研修の拡充を図るための講習方法等について検討しております。

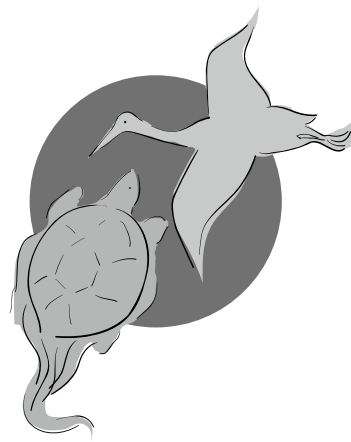
このような情勢のなか、「事業用自動車総合安全プラン2009」の事故削減目標に向け、会員が丸となって様々な方法で事故防止対策に取り組んでいきます。また、運送事業の適正化を図るため適正化事業指導員により計画的に巡回指導を行い、事業計画、運行管理、車両管理、労務管理、法定福利などの指導項目について改善指導を行います。

地域と連携した事故防止・交通安全対策といたしましては、子どもと高齢者の交通事故防止対策、春・秋の交通安全県民運動での街頭啓発活動を展開し、環境対策では、環境に配慮したエコドライブの徹底や環境キャンペーンを主要駅前で行い、災害時の緊急物資輸送におきましては、近畿府県合同防災訓練等に参加します。

「トラック輸送における取引環境・労働時間改善奈良県地方協議会」は3年度目に入りますが、長時間労働の抑制に向けたパイロット事業（実証実験）に関係者が一体となって取り組んでいきます。

協会といたしましては「輸送の安全」を最重点とし、国民生活を支える暮らしと経済のライフラインとして不可欠な輸送機関であるトラック輸送を振興するため、国、県はじめ関係団体・機関等の各位、そして会員の皆様方のご理解とご協力を得ながら協会を運営し、事業活動に精一杯努力する所存です。

平成29年が皆様方にとって、幸多き年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



第 3 回 総 務 委 員 会

日時：平成28年12月9日(金) 午後零時～午後零時50分

場所：奈良県トラック会館

出席者：中 担当副会長

委 員：8名

事務局：4名

以上13名

議 事

(1) 平成29年度事業計画書及び収支予算書作成前の意見伺いについて

- 平成29年度事業計画書及び収支予算書作成にあたり、公益法人としての3つの公益目的事業について具体的な意見があれば伺う。
- 事業用トラックドライバー研修テキスト（全10巻、全ト協作成）を利用した事故防止・交通安全対策事業を平成29年度事業として計画している。

(2) 給与規程の一部変更（案）について

平成28年度税制改正に伴い、給与規程の一部変更（案）を理事会に上程する。

(3) 平成28年度「正しい運転・明るい輸送運動表彰」候補者推薦（案）について

全ト協会長名の表彰で、事業所表彰1社、事業所従業員表彰2社の推薦（案）を理事会に上程する。

(4) 会費未収金について

6カ月以上の会費未収先1社。現在、督促中である。

(5) 旧会館跡地の土地売却一般競争入札について

12月2日に開札し、落札。
全ての手続きが完了後、落札結果をホームページに公表する。

(6) 協会の啓発活動等について

協会が県や国と連携した活動について報告。

- ①秋の交通安全県民運動で交通安全を啓発。
- ②「トラックの日」PR。
- ③第32回物流セミナー。
- ④交通安全サポート事業所として交通事故防止活動。
- ⑤ダンプ部会の奈良県社会福祉協議会への寄付活動。
- ⑥第45回奈良県産業安全衛生大会。
- ⑦県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会。
- ⑧安全性優良事業所奈良運輸支局長表彰。

(7) その他

12月16日の理事会において、奈良県警察本部運転免許課より準中型免許制度について、説明がある。



第256回理事会

日時：平成28年12月16日(金) 午後1時30分～
場所：奈良県トラック会館

理事総数 27名 出席 21名 欠席 6名

森本万司会長は「早いもので、あと2週間で新年を迎える時期となった。皆様の協力のおかげで円滑な運営がここまでできた。本日は平成29年度定時総会に向けての議案についても審議をよろしく願いたい」とあいさつ。

審議事項は次の通りです

- (1) 平成29年度定時総会に向けてのスケジュール（案）について。（理事会・役員選考委員会・総会の日程等）第257回理事会は2月27日（月）、第258回理事会は4月26日（水）に開催予定。平成29年度定時総会は5月29日（月）に橿原ロイヤルホテルで開催予定 ⇒ 承認



- (2) 平成29年度事業計画書及び収支予算書作成前の意見伺いについて ⇒ 承認
(3) 給与規程の一部変更（案）について ⇒ 承認
(4) 平成28年度「正しい運転・明るい輸送運動表彰」候補者推薦（案）について

- 事業所表彰に藤俊運輸株式会社、事業所従業員表彰に奈良県合同陸運株式会社、八木日進運送株式会社の各従業員1名を推薦 ⇒ 承認
(5) 会員の入会（案）について ⇒ 承認

新たに5社入会されました

■(株) センエイ物流

生駒市俣口町817-1 アルファ生駒201号
Tel 0743-74-4006
Fax 0743-73-1112

■トヨタ輸送中部(株)

磯城郡田原本町阪手128-2
プチメゾンオーショウ303号
Tel 0744-33-6330
Fax 0744-33-6330

■(株) NH運送

奈良市法華寺町124番地1-302号室
Tel 0742-35-6477
Fax 0742-35-6477

■(株) つぎサポート

天理市樺本町1425-5
Tel 0742-50-0033
Fax 0742-50-0034

■エイトポイント(谷田佳明)

北葛城郡上牧町桜ヶ丘2丁目14番地10
Tel 0745-57-2561
Fax 0745-57-2562

報告事項は次の通りです

- (1) 国土交通大臣表彰受賞について
(株)辻本運送代表取締役社長 辻本廣行氏（当協会理事）
(2) 業務執行の状況報告について
定款第27条に基づき代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について報告した。
(3) 旧会館跡地の土地売買契約について

12月8日付の土地売買契約書について報告した。落札の結果は、所有権の移

- 転及び土地の引き渡し後、ホームページで公表する。
(4) 次期役員の推薦について報告があった。
(5) 平成28年度優秀運転者顕章（金・銀十字章）受章者について
7社21名（金4名・銀17名）。伝達式は平成29年2月10日（金）予定。
(6) 第21回全国トラック運送事業者大会の収支報告について、報告があった。
(7) 各委員会報告について
【適正化実施対策】平成28年度第2回適正化実施対策

委員会報告。第32回物流セミナーを11月20日（日）かしはら万葉ホールで開催。講師は長谷川幸洋氏（ジャーナリスト）。

【交通安全・労災防止対策】平成28年度第3回交通安全・労災防止対策委員会報告。

【交付金運営】平成28年度

近代化基金融資推薦の状況について報告。

- (8) 各種助成金の執行状況について報告。

各種助成金の予算残について報告した。

- (9) 会員の退会について

5社が退会し、会員総数が476社になったと事務局から報告。

退会

岩城組、平光工業(株)、
(有)松田花香舎、巽製粉(株)、
堀川運輸(株)

(会員総数476社)

- (10) その他

「安全なトラック輸送を目指して」（人材確保対策）
パンフ等について説明。

●準中型免許の新設について



▲奈良県警察本部交通部運転免許課
潮田良司課長補佐

理事会終了後、来年3月12日に施行される準中型免許の新設について、奈良県警察本部潮田課長補佐が資料に基づいて説明。

出席されたのは次のみなさんです（社名・敬称略）

会長＝森本 副会長＝清水・中・塚本 監事＝阪井・東口・壺井 相談役＝吉村 専務理事＝中林
常務理事＝松村 理事＝谷口・甲斐・廣瀬・中西・辻本・鳥山・森本（禎）・山口・松谷・井上・萩原・山田・丸山・吉岡・川端 欠席理事＝岡本・裏・今西・西川・森本（好）・古田



第2回適正化実施対策委員会

日時：平成28年12月12日(月) 午後1時～午後1時30分

場所：奈良県トラック会館

出席者：塚本担当副会長、森本委員長
委員：7名
事務局：5名 以上14名

議 事

(1) 巡回指導報告等について（期間：平成28年4月1日～11月30日）

- 4月～11月の巡回指導実施状況及び改善状況等について報告。
- 奈良運輸支局から指導要請のあった2営業所に対し、特別巡回指導を実施。

(2) 平成28年度安全性優良事業所に対する近畿運輸局長表彰等の受賞について

- 平成28年11月9日(水)近畿運輸局長表彰
3事業所
- 平成28年11月29日(火)奈良運輸支局長表彰
8事業所

(3) 第27回奈良県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会について

- 平成28年11月7日(月)NEXCO西日本 茨木技術研修センター
道路本体構造物が設置されており、劣化メカニズムや予防保全・補修・補強の留意点などが学べる施設を視察した。

(4) 平成28年度第1回運行管理者試験結果及び運行管理者試験対策講習会について

- 第1回運行管理者試験結果（貨物・奈良県）
平成28年8月28日(日)実施。合格率28.4%（全国平均30.2%）
- 第2回運行管理者試験対策講習会
平成29年2月11日(土)、18日(土)に奈良県トラック会館で開催。

(5) 各種セミナー等について

- 法令遵守セミナー
平成28年8月4日(木)
①県内の交通情勢及び交通安全対策について（奈良県警察本部）

②労働災害の動向と安全衛生管理について（奈良労働局）

③貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針の一部改正等について（奈良運輸支局）

④低公害車普及促進対策補助金等について（近畿運輸局）

- 原価意識強化セミナー
平成28年10月27日(木)
奈良県トラック会館
同 28日(金)

かしはら万葉ホール

これまでの原価計算方法に加え、生産性の向上、取引先との交渉力強化に向けた内容を取り入れるなど、収益力の向上に焦点をあてたセミナーを開催した。

- 第32回物流セミナー
平成28年11月20日(日)

かしはら万葉ホールにおいて開催。

(6) 過積載防止啓発活動について

- 平成28年11月15日(火)針テラス、奈良・針TSで実施。



(7) その他

○適正化事業指導員永年功労局長表彰の受賞について

井口元裕 適正化事業指導員が受賞したことを報告した。

○初任運転者に対する指導教育の実施について

準中型免許創設に伴い、トラックの初任運転者等について、免許取得後の研修の拡充等が図られた。(平成29年3月12日施行)

協会として、外部の専門的機関での実施を検討している。

第1章 一般的な指導及び監督の指針に「運転支援装置を備えるトラックの適切な運転方法」が追加された。

第2章 特定の運転者に対する特別な指導及び監督の指針

「初任運転者に対する特別な指導の内容及び時間」の改正

- ・第1章の内容を15時間以上（座学及び実車を用いて実施）現行6時間以上（座学）
- ・実際にトラックを運転させ、安全な運転方法を指導 20時間以上【新設】

○平成28年度貨物自動車運送事業安全性評価事業の公表等の予定について

平成28年12月15日(木)に全ト協ホームページに公表される。

評価結果通知書も同日発送。



第3回交通安全・労災防止対策委員会

日時：平成28年12月6日(火) 午後1時～午後1時45分

場所：奈良県トラック会館

出席者：中担当副会長、萩原委員長

委員：7名

事務局：3名 以上12名

指示事項

奈良労働局 労働基準部 健康安全課 地方産業安全
専門官 西川 聡 氏

- ①平成28年業種別労働災害発生状況（平成28年10月末現在）

労働災害の発生数は、他の業種が増加している中、道路貨物運送業は、昨年の95件から今年は93件に減少しているが、死亡事故が交通事故1件、荷役事故1件発生している。

- ②年末年始無災害運動（平成28年12月15日～平成29年1月15日）

季節の節目（年末、年度末等）は事故が増加傾向にあるため、事業計画はいつも以上に余裕を持って立てるようお願いする。

- ③労働安全衛生法に基づく健康診断実施後の措置について

定期健康診断を受診し、有所見項目について早期対応することが重要である。

- ④死亡災害多発に伴う緊急警報（平成28年11月2日）

死亡災害が現在13件発生しているため、危険性の高い作業の確認・見直し、安全衛生管理体制の確立、就業形態の多様化などに対応した安全教育の実施等の取り組みをお願いする。



議 事

- (1) **トラックドライバーの健康管理セミナーの開催について**

12月13日に開催することを説明し、参加を要請した。

内容：①運行管理者が知っておくべき労務管理について

②トラックドライバーの健康管理について

③ストレスチェック、メンタルヘルス、地域産業保健センターの業務について

- (2) **奈良・針T Sにおける交通事故防止啓発活動報告について**

8月31日、奈良・針T Sにおいて実施した。

- (3) **奈良・針T Sの施設利用状況について**

平成28年4月～10月の大型トラック立寄

状況

122,048台（日当たり約600台）全国1位

- (4) **子どもの交通事故防止（足型ストップマーク普及）事業報告について**

五條市（200枚）、奈良市（800枚）、

香芝市、広陵町、上牧町（各200枚）

各市町の幼稚園、小学校に配布し、通学路に貼付する。

- (5) **秋の交通安全県民運動活動報告について**

秋の交通安全運動期間中（9月21日～30日）、各地域において啓発活動を実施した。

- (6) **高齢者の交通事故防止事業報告について**

一般財団法人奈良県老人クラブ連合会と連携し、事故防止に対する意識の高揚を目的に、「交通安全に関するアンケート調査」を実施

した。

10月25日

奈良県老人クラブ連合会指導者研修会

11月17日

第6回県老連健康ウォークラリー大会

結果については、今後の交通安全対策等に活用する。

(7) **第48回全国トラックドライバー・コンテストの結果報告について**

10月22～23日、自動車安全運転センター（茨城県ひたちなか市）において開催された。

奈良県 4トン部門

(8) **第31回全国フォークリフト運転競技大会の結果報告について**

9月25日、埼玉県トラック総合教育センターにおいて開催された。

奈良県 一般部門

(9) **第45回奈良県産業安全衛生大会の結果報告について**

10月14日、かしはら万葉ホールにおいて開催され、労働安全衛生表彰及び3ヶ月無災害運動達成事業場表彰が行われた。

(10) **第52回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会の結果報告について**

11月17日、ホテルハマツ（福島県郡山市）

において開催され、大会式典において安全衛生表彰等が行われた。

中西副委員長より報告

磐城通運(株)（福島県いわき市）の事例発表について

会社の基本方針及び経営理念を掲げ、社員一人一人の持ち味を生かしながら、責任を持って業務を遂行できる環境づくりが印象的であった。

(11) **その他**

男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法の改正について

男女ともに、育児や介護で離職することなく働き続けることができるよう改正された。（平成29年1月1日施行）

【主な改正】 介護休業の分割取得（3回を上限）
多様な家族形態・雇用形態に対応した育児休業制度等の対象追加。
上司や同僚によるマタハラ
の防止のための措置を事業主に義務づけ

準中型免許の新設について

（平成29年3月12日施行）

奈良県警察本部 交通部 運転免許課

試験担当課長補佐 潮田良司 氏



平成28年度 安全性優良事業所奈良運輸支局長表彰

日時：平成28年11月29日(火) 午前10時～

場所：奈良運輸支局



安全対策に顕著な 8 事業所が受賞



▲式辞を述べる木村支局長

平成28年度安全性優良事業所奈良運輸支局長表彰は8事業所が受賞しました。木村淳三支局長は「安全性優良事業所、いわゆるGマーク認定を10年以上連続して受けている中から特に安全対策に顕著な功績のあった事業所、安全面で法令を遵守し事故や違反がなく、Gマークの手本となる事業所として選ばれました。積極的に安全対策に取り組んでいることに感謝するとともに業界のトップランナーとし

てさらなる活躍を期待したい。また次は近畿運輸局長表彰を目指していただきたい」とお祝いの式辞を述べました。

8事業所が表彰されました。(順不同)

- 奈相流通株式会社 本社営業所
- 日本通運株式会社 自動車営業課
- 奈良郵便輸送株式会社 中和営業所
- ジェイ・ネット株式会社 本社営業所
- 日通奈良運輸株式会社 橿原営業所
- 日本通運株式会社 橿原営業支店
- ヤマト運輸株式会社 桜井支店
- ヤマト運輸株式会社 奈良平城支店

〈奈良運輸支局長表彰の基準〉

- ・ Gマークを連続して10年以上取得。
- ・ 運転者教育が定期的に実施されている。
- ・ デジタコ又はドラレコが装着されている。
(配置車両の90%以上)
- ・ 荷主からの評価、安定的な経営の確保、又は、運転記録証明書による運転者への指導が行われている、など。

11月はエコドライブ推進月間

環境キャンペーンを実施

日時：平成28年11月24日(木) 午前10時30分～

場所：近鉄郡山駅前



「環境に配慮した運転でCO2削減へ」と笑顔で呼びかけ

11月はエコドライブ推進月間。今年、近鉄郡山駅前で、環境キャンペーンを実施しました。これは（一社）近畿トラック協会が行う同キャンペーンの一環で、環境対策委員会の裏大

二委員長や中秀夫担当副会長と委員が参加。駅前を行きかう買い物客や電車の乗降客などに、オリジナル保冷温エコバッグなどの啓発品を配布しながら、トラック協会が環境に配慮した車

両の導入や運転を推進していることをアピール、さらなるCO2削減に向けての協力を訴えかけました。



平成28年度 グリーン経営促進研修会

日時：平成28年12月2日(金) 午後1時30分～午後4時30分

場所：奈良県トラック会館

グリーン経営は、環境に配慮した経営を目指す制度であり、環境マネジメントシステム（ISO 14001）の認証取得に比べ経済的、人的負担が小さく、自社の規模に合わせて容易に取り組むことが可能な制度です。

研修会では、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部 グリーン経営推進課長の吉川博之氏より、認証取得に向けた具体的なポイント等の解説とグリーン経営認証取得事

業者に対する国土交通省の優遇制度として、CNG車やハイブリッド自動車導入補助制度の緩和要件の適用（トラック車両については廃車を伴わない新車導入の場合3台以上の導入が必要。認証取得事業者は1台からの導入でも補助の対象となる。）や国土交通省ホームページで事業者名が公表される等の説明が行われ、6社11名が参加しました。



第52回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会

日時：平成28年11月17日(木) 午後1時30分～

場所：ホテルハマツ（福島県郡山市）



全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会に森本会長、中副会長、萩原委員長、中西副委員長、中尾委員、植平委員が参加しました。

はじめに大会式典が開かれ、陸災防福島県支部 渡邊泰夫 支部長が開会の辞、陸災防 川合正矩 会長が挨拶し、続いて安全衛生表彰、永年勤続表彰、優良フォークリフト等運転者の表彰式が行われました。

（奈良県）安全衛生表彰 進歩賞

モミキ運送(株)、下市合同貨物自動車(株)

優良フォークリフト等運転者表彰

八巻幸雄 氏（原口運輸商事(株)）

田原 亨 氏（大和運輸(株)）

表彰式後、北海道支部 青山陽一 支部長が大会宣言を読み上げ、採択されました。

第2部では、講演、事例発表、特別講演が行われました。

講演 「労働安全衛生行政の動向」

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 田中誠二 氏

事例発表 「全員参加で取り組む 安全・安心な職場づくり」
磐城通運株式会社

特別講演 「炭鉱から観光へ そして復興へ ～人が一番大事～」
常磐興産株式会社 相談役 斉藤一彦 氏

式次第

1 大会式典

国歌斉唱

黙 祷

開会の辞

挨 拶

来賓祝辞

表 彰

安全衛生標語入選作品顕彰

大会宣言

2 講演

3 事例発表

4 特別講演

閉会の辞



次回第53回大会の開催地である、新潟県支部 高橋 浩 支部長の閉会の辞で大会が幕を閉じました。

トラックドライバーの健康管理セミナー

日時：平成28年12月13日(火) 午後1時30分～
場所：奈良県トラック会館

近年、ドライバーの体調不良が原因で起こる「健康起因事故」が増加傾向にあり、事故を防止するためには、事業場での健康管理が重要な役割を担っています。事業主や運行管理者を対象に職場ですぐにでも始められそうな労務管理や、健康管理、ストレスチェック等についてのセミナーが催され、会員36人が参加し、熱心に受講していました。



ドライバーの健康管理は事業所も責任をもって

①運行管理者が知っておくべき転ばぬ先の労務管理について

講師：奈良産業保健総合支援センター 産業保健相談員・促進員 特定社会保険労務士 北潟秀晴氏



1ヵ月の残業時間は100時間を超える事業場から80時間を超える事業場へと、

監督指導の基準が厳しくなりつつある。時間外労働をゼロにする必要はないが、1ヵ月80時間以内を目標に運行計画を立てたほうがよい。事業主や運行管理者には安全（健康）配慮義務が

あることを忘れてはいけない。身体の安全だけでなく、心の健康にも配慮を。そのためには日頃から運転手とのコミュニケーションを大切にしてほしい。

②自動車運転者特有の健康上のリスクについて

講師：奈良産業保健総合支援センター 相談員 保健師 上坂聖美氏



健康が起因しての事故は全体の3分の2ある。出勤前3時間の睡眠と勤務中15

分の仮眠が効果的。血管病予防のためには、家庭でできる血圧測定をすすめたい。起床後と就寝前の2回、測定をしていると血管病の兆候をつかめるかもしれない。原因が無く血圧があ

がってきたら、要注意。※このほか、健康的な食事の方法や腰痛予防の健康体操についてなどの指導もありました。

③ストレスチェック、地域産業保健センターの業務について

講師：北和地域産業保健センター コーディネーター 久保一美氏



平成27年12月からストレスチェックが労働者50人以上の事業場で義務化になっ

ている。また事業場では健康診断の結果を5年間は保管しないといけない。労働者50人未満の事業場では産業医の選任義務はないが、地域産業保健センターでは、産業医の派遣も行ってい

る。県内に4つのセンターがあり、登録産業医が各事業場へ訪問して、無料で指導、助言することもできる。事業者は、健診の結果を受けて措置を講じてほしい。

名阪国道の冬期間の安全快適な交通確保について

～ 奈良国道事務所より要請 ～

日：平成28年12月19日(月)

場所：奈良県トラック会館

奈良国道事務所より「名阪国道の冬期間においては、路面凍結・降雪により事故が毎年発生しています。つきましては名阪国道を通過する場合には冬用タイヤを装着するなど冬装備について万全

を期して下さい」と要請があり、交通安全・労災防止対策委員会の中副会長が要請書を受けました。



▲右が奈良国道事務所 中安 総括保全対策官

冬期間の安全で快適な交通確保について

平素は、奈良県内の円滑な道路交通の確保にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
名阪国道は標高約500mの山間部を通過し、冬期間においては路面凍結・降雪により道路交通に支障が生じることが多々あることから、凍結防止剤の散布及び豪雪時の事前通行規制の検討を行い、安全な道路交通の確保に努めています。

しかしながら、大型トラック等が路面凍結・降雪時であるにもかかわらず冬用タイヤやチェーンなどの冬装備を行わないまま、ノーマルタイヤやオールシーズンタイヤで通行したことによる事故が毎年発生しています。

つきましては、奈良国道事務所としても、こうした事故を引き起こさないために、対策に取り組む所存ですが、貴協会におきましては名阪国道を通過する場合には冬用タイヤを装着するなど冬装備について万全を期していただきたく、下記事項について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 名阪国道を走行する場合には冬用タイヤを装着し、気象情報や道路情報に注意してチェーン等の早めの装着。
2. 冬用タイヤの装着やチェーンの携行などの冬装備の啓発。
3. 最新の気象情報を入手したうえで、降雪時でも余裕のある運行計画。
4. 様々な機会において、速度超過抑止の呼びかけ。

以上

平成28年12月19日

公益社団法人 奈良県トラック協会 様

国土交通省奈良国道事務所 様



奈良地域 献血活動を実施

日時：平成28年11月28日(月) 午前10時～
場所：近鉄奈良駅 行基前広場

奈良地域は、昨年に引き続き、近鉄奈良駅行基前広場で、日本赤十字社奈良県赤十字血液センターに協力し、通行する皆様に啓発ティッ

シュを配りながら、献血への協力を呼びかけました。



軽油価格調査集計表(2016年10月)

平成28年11月25日現在
(公社)全日本トラック協会

2016年10月

単純集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
	88.96	73.10	80.97

2016年10月

元売別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

元売名	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
J X日鉱日石	80.90	73.45	84.53
出光	81.00	73.03	80.23
昭和シェル	102.50	73.11	
エクソンモービル	84.01	72.58	
キグナス		71.94	
コスモ	89.85	73.47	80.57
その他	91.68	73.14	77.40

2016年10月

月間購入量別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

月間購入量	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30キロリットル未満	89.84	73.28	81.92
30～50キロリットル未満	91.00	73.95	77.22
50～100キロリットル未満	93.40	71.03	78.00
100キロリットル以上	71.00	71.56	

2016年10月

支払期限別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

支払期限	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30日未満	92.00	73.63	79.23
30～60日未満	88.36	73.01	80.68
60日以上			92.00

軽油価格推移表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
2016年6月	85.79	75.03	81.73
2016年7月	84.29	72.84	81.19
2016年8月	81.54	71.35	78.77
2016年9月	85.53	71.54	79.27
2016年10月	88.96	73.10	80.97

集計結果は各項目「平均」のみの表示です。

「適正化事業・巡回指導報告書」

(平成28年11月実施分)

奈良県貨物自動車運送適正化事業実施機関

事業所 巡回件数	計画数 20件	実施数 13件	実施率 65%	巡回延出動台(日)数 8台	
調査事項				指導件数	ワースト5
Ⅰ. 事業計画等					
○	1. 主たる事務所及び営業所の名称、位置に変更はないか。			0	
	2. 営業所に配置する事業用自動車の種別及び数に変更はないか。			1	
○	3. 自動車車庫の位置及び収容能力に変更はないか。			0	
	4. 乗務員の休憩・睡眠施設の位置、収容能力は適正か。			0	
	5. 乗務員の休憩・睡眠施設の保守、管理は適正か。			0	
	6. 届出事項に変更はないか。(役員・社員、特定貨物に係る荷主の名称変更等)			0	
○	7. 自家用貨物自動車の違法な営業類似行為(白トラの利用等)はないか。			0	
○	8. 名義貸し、事業の貸渡し等はないか。			1	
Ⅱ. 帳簿類の整備、報告等					
	1. 事故記録が適正に記録され、保存されているか。			0	
	2. 自動車事故報告書を提出しているか。			0	
	3. 運転者台帳及び従業員台帳が適正に記入等され、保存されているか。			0	
	4. 車両台帳が整備され、適正に記入等されているか。			0	
	5. 事業報告書及び事業実績報告書を提出しているか。(本社巡回に限る)			3	
Ⅲ. 運行管理等					
	1. 運行管理規程が定められているか。			0	
	2. 運行管理者が選任され、届出されているか。			0	
	3. 運行管理者に所定の研修を受けさせているか。			1	
	4. 事業計画に従い、必要な員数の運転者を確保しているか。			0	
◎	5. 過労防止を配慮し、適正に管理されているか。			3	
◎	6. 過積載による運送を行っていないか。 ☆			0	
◎	7. 点呼の実施及びその記録、保存は適正か。			3	
○	8. 乗務等の記録(運転日報)の作成・保存は適正か。			5	②
○	9. 運行記録計による記録及びその保存・活用は適正か。 ☆			1	
○	10. 運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。			0	
◎	11. 乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。			3	
○	12. 特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。			3	
○	13. 特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。			4	③
Ⅳ. 車両管理等					
	1. 整備管理規程の制定及び整備管理業務がなされているか。			0	
	2. 整備管理者が選任され、届出されているか。			0	
	3. 整備管理者に所定の研修を受けさせているか。			2	
	4. 日常点検基準を作成し、これに基づき点検を適正に行っているか。			2	
◎	5. 定期点検及びその保存がされているか。			6	①
Ⅴ. 労基法等					
○	1. 就業規則が制定され、届出されているか。			1	
	2. 36協定が締結され、届出されているか。			4	③
	3. 労働時間、休日労働について違法性はないか。(運転時間を除く)			0	
○	4. 所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。			4	③
Ⅵ. 法定福利費					
○	1. 労災保険・雇用保険に加入しているか。			2	
○	2. 健康保険・厚生年金保険に加入しているか。			2	
指導件数合計				51	

(注) ○重点項目 ◎最重点項目 ☆霊柩運送は項目から除外

	A	B	C	D	E	その他	合計
通常	件	4 (1) 件	4 (2) 件	2 件	件	1 (1) 件	11 (4) 件
新規参入	件	件	件	1 件	件	件	1 件
新規(他)	件	件	1 件	件	件	件	1 件
特別(労)	件	件	件	件	件	件	件
特別(他)	件	件	件	件	件	件	件
総合	件	4 (1) 件	5 (2) 件	3 件	件	1 (1) 件	13 (4) 件

※ () は会員外の件数です

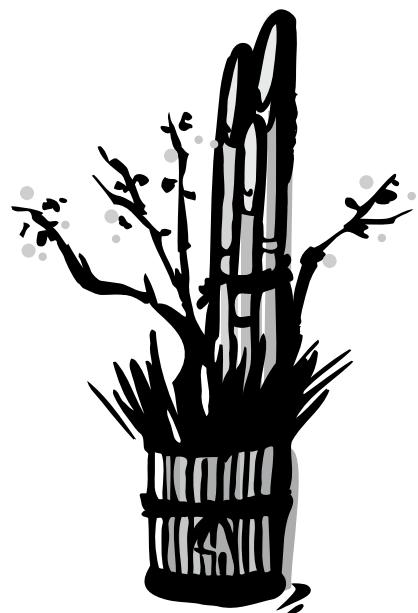
トラック協会・陸災防奈良県支部

1月の行事(予定)表

日	曜	時 間	行 事	場 所
16	月	13:30～	整備管理者選任後研修	奈良県トラック会館
17	火	13:30～	整備管理者選任後研修	奈良県トラック会館
18	水	13:30～	整備管理者選任後研修	かしはら万葉ホール
19	木	11:00～	過積載防止の啓発活動	針テラス、奈良・針TS
28	土	9:00～	はい作業主任者技能講習会	奈良県トラック会館
29	日	9:00～	はい作業主任者技能講習会	奈良県トラック会館

2月の行事(予定)表

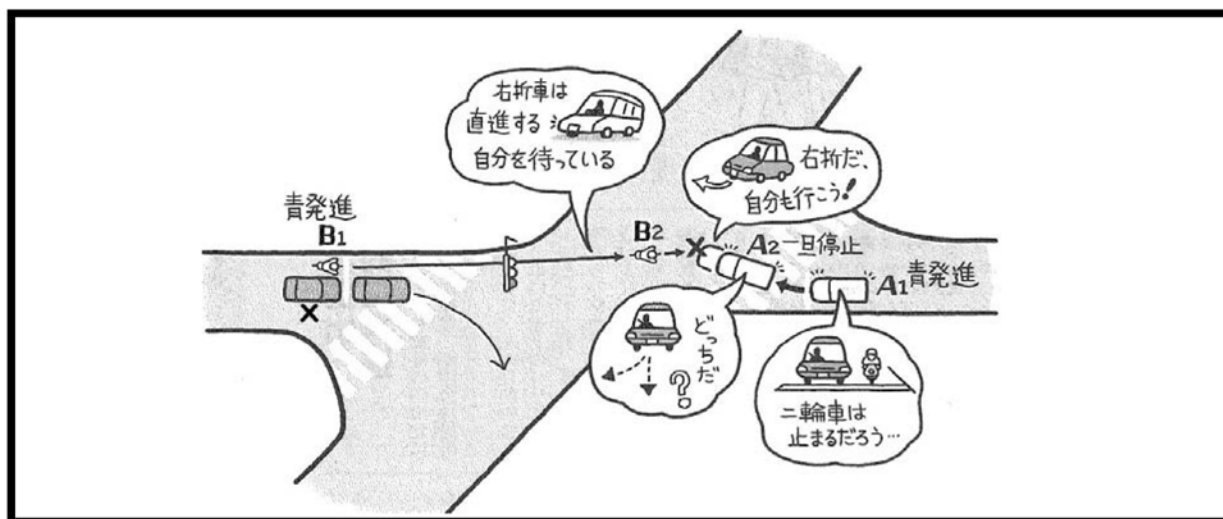
日	曜	時 間	行 事	場 所
3	金	13:00～	陸災防 荷役作業安全ガイドライン説明会	奈良県トラック会館
10	金	13:30～	優秀運転者伝達式及び優良事業所表彰式	奈良県トラック会館
11	土	9:00～	運行管理者試験対策講習会	奈良県トラック会館
14	火	13:30～	トラック運送事業者のための人材確保セミナー	奈良県トラック会館
18	土	9:00～	運行管理者試験対策講習会	奈良県トラック会館
23	木	13:30～	書面化推進セミナー	奈良県トラック会館
27	月	13:30～	第257回理事会	奈良県トラック会館



事業用自動車事事故事例 No.16

(一般貨物) 普通貨物車と二輪車の変形交差点での出会い頭事故

■事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：夜 曇り

当事者A：普通貨物車 30歳代 男性

当事者B：二輪車 10歳代 男性

■ 事故の概要

Aは外での営業を終えて会社へ戻ろうと往復1車線の道路を走行していました。変形十字交差点を右折しようとし、信号が赤になったので停車しました。交差点の対向側の先頭にも信号待ちのX車がい、その右にはB車がいるのが見えました。B車は左折か直進するだろうが、先に交差点内に進入してしまえばB車が止まるだろうと考えました。

Aは信号が青に変わったのを確認してから、交差点に進入しました。X車も動き出しましたが、方向指示器を出していなかったため、AにはX車が直進するのか右折するのか分かりませんでした。Aは交差点内で停止してX車の動静に注意しました。X車が右折を開始したので、Aは自分も右折を開始したところ、突然、A車の直前にB車が現れたため、急ブレーキをかけたにもかかわらず衝突しました。

一方、B車は信号が青になって交差点内に進入した際、A車が停止したのを見て自分の進行を待っているものと解釈しました。そのまま時速約20kmで進行したところ、突然A車が右折を開始したためブレーキをかけたが、間に合わず衝突して全治7日程度の軽傷を負いました。

■ 事故から学ぶ

この事故の直接の原因ではありませんが、直進してくる二輪車を正面からみて正確な速度を読み取るのは大変難しいことが分かっています。それは二輪車が小さく見えるとか、目立ちにくいとか、様々な理由があるようです。

自分が交差点で右折待ちをしていて、対向側から二輪車が直進してくるときは「二輪車を正面から見たとき、速度を正確に言い当てることは難しい」ことを思い出して、直進二輪車の通過や停止を確認してから右折を開始したほうがより安全です。

K I T 事業のご案内

Kyodo Information of Transport

K I T(協同・情報・輸送) 事業のご案内

キット K ・ I ・ T

奈良県キット事業協同組合は平成12年6月から事業を開始しております。
キット事業とは、インターネット上にて、荷物及び車両を検索し、条件が
合えば成約する事業で、空車を無くし、実車率を高める情報サイトです。

KITネットワーク

全国WebKIT加入協同組合・組合員の
間で荷物・車両の手配が出来ます。

〇〇キット組合
会員A社

荷物が無いなあ〜……。
車両が空いてる……。

車両が足りない！！
誰か運んでくれないかなあ？

△△キット組合
会員B社

＊運賃の集金は組合精算ですので安心です。

エネクスフリート 軽油価格(税込)

平成28年度	9月	10月	11月
軽油	85円	86円	88円

(単価は日本貨物運送事業協同組合連合会
(日貨協連)の全国統一価格です。)

WebKIT輸送情報実績 全国の実績

平成28年度		9月	10月	11月	前年同月比
荷 物	荷物登録件数	106,197	109,053	122,005	2,709件
	荷物成約件数	16,726	17,349	17,631	
	成 約 率	15.8%	15.9%	14.5%	

＊当組合は燃料(スタンド給油)販売、尿素の販売もしております。

お問い合わせ

奈良県キット事業協同組合
〒639-1103

奈良県大和郡山市美濃庄町170-15

TEL 0743-58-6080 FAX 0743-58-6081

近畿交通共済からのお知らせ

夜間・休日事故受付サービスSTART

24 時間対応で一層の安心を提供します。

当組合では、皆さまから要望をいただいております、営業時間外（平日夜間、土曜日、日曜日・祝日）の事故受付・初動対応サービスを昨年 12 月から実施いたしました。

万一の事故に備え、安心と満足をいただけるサービスを提供いたします。当組合の自動車共済のご利用をよろしくお願いいたします。

近畿共済事故受付センターでの対応サービス

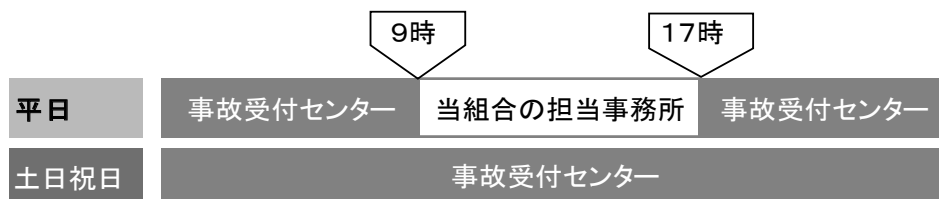
平日夜間、土日・祝日にご報告いただいた事故について、共済契約の確認を行ったうえで事故受付を行います。一定の条件を満たした場合、契約者のご要望に応じて、翌営業日を待たずに相手方（被害者）への連絡等の初期対応を実施します。したがって、事故状況が不明な場合、相手方に過失がある場合などは翌営業日の対応となります。

なお、事故受付センターへの事故報告及び初期対応結果状況等につきましては、その後、当組合の事故担当者等に引き継ぎを行います。

受付時間 平日午後 5 時から翌日午前 9 時まで

土曜日、日曜日、祝日については終日

※上記の受付時間外は、今まで通り、当組合の担当事務所が事故報告を受付し、事故解決にあたります。



いざ事故発生
受付電話番号(フリーダイヤル) **0120-132583**

FAX での受付は行いませんので、必ず上記フリーダイヤルをご利用ください。

当サービスについて詳しくは、当組合までお問合せください。

近畿共済は、組合員のみなさまと一体となって事故防止に努力しています
近 畿 共 済 の 自 動 車 共 済 ・ 自 賠 責 共 済 を ご 利 用 く だ さ い

ご契約のお問い合わせ・お申し込みは、奈良事務所 0743-59-1701まで

奈良県警察本部からのお知らせ

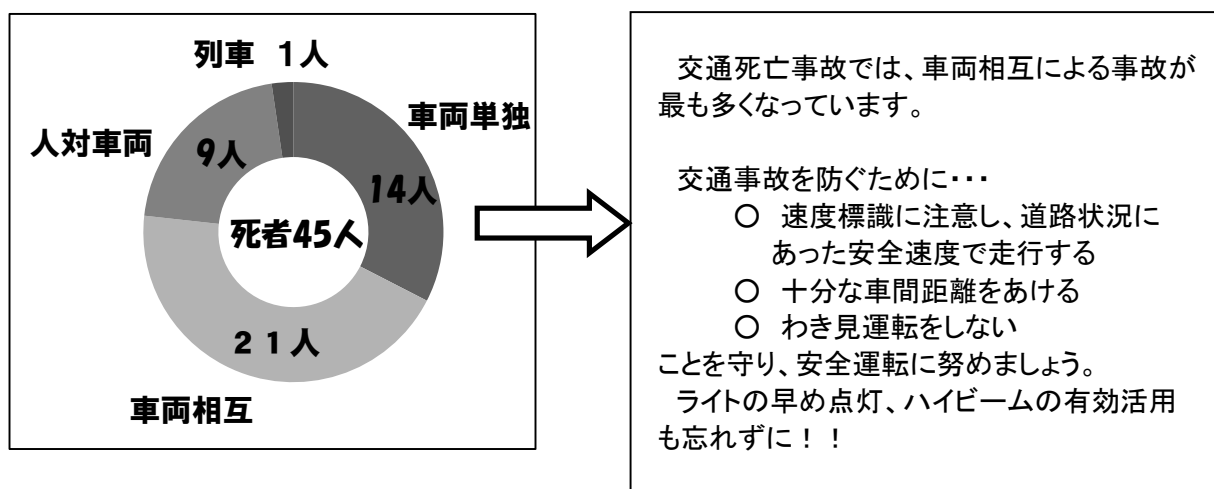
1 交通事故発生状況(平成28年12月15日現在)

区分	平成28年中	平成27年中	増減数	備考
総件数	41,443 件	41,887 件	-444 件	1日に約 118 件
人身事故件数	4,294 件	4,866 件	-572 件	1日に約 12 件
死者数	45 人	45 人	0 人	約 8 日に1人
負傷者数	5,462 人	6,234 人	-772 人	1日に約 16 人
物損事故件数	37,149 件	37,021 件	128 件	1日に約 106 件

(平成28年のデータは概数)

2 交通死亡事故発生状況 (平成28年12月15日現在)

○ 事故類型別発生状況



歩行者を交通事故から守りましょう。

- 横断歩道を横断していたり、横断しようとする歩行者がいるときは、横断歩道の直前（停止線があるところでは停止線の直前）で停止し、歩行者の通行を妨げてはいけません。
- 横断歩道に接近するときは、その進路の前方を横断しようとする歩行者等がいらないことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できる速度に減速しなければなりません。
- 歩行者が、交差点と交差点の直近の横断歩道のない場所で横断しているときは、歩行者の通行を妨げてはなりません。
- 歩行者の側方を通過するときは、安全な間隔を保持するか、徐行する必要があります。



トラック運送事業は安全が最優先

辻本運輸 株式会社

北葛城郡広陵町平尾の辻本運輸株式会社（代表取締役 辻本ゆり子氏）は、3トン車と4トン車で主に米とプロパンや石油を県内、大阪に配送。事故の報告があった場合は、その報告や反省点などについて会議を実施。交差点では「しっかり左右と前後を確認、さらに左をみること」と目視による安全確認の大切さを辻本社長は説きます。

また安全意識を高めるため、ドライ

安全マップで 基礎的なことをおさらい

バーを4～5人単位のグループに分けて、1年間無事故のチームを表彰。個人単位では3年、5年、10年間無事故の方を表彰しています。さらに毎年春に、標語を社員から募って優秀賞2点を選定。社内に張り出して安全意識の向上に努めています。昨年の最優秀賞は「焦り油断はミスのもと」。

健康診断は毎年実施しています。



▲辻本順一専務が地域安全マップを使って講習。

トラック運送事業は安全が最優先

有限会社 奈良名勝運輸

香芝市畑の有限会社奈良名勝運輸（代表取締役 小椋勝彦氏）は、奈良市や新潟県、九州などへ一般雑貨や住宅資材、飲料水などを運んでいます。小椋社長は「車間距離、スピード、脇見の3点セットがひとつでも欠けたら危険が伴う」と点呼時はもちろん、ことあるごとに注意。「前方をしっかりと見て、休む時は、しっかりと休む」。メリハリの大切さを訴えます。日々の注意や指導の他、月1回の社内ミーティングで、ヒヤリハットなどの情報をドライバー間で共有しています。

安全マップで 危険な交差点を チェック



▲地域安全マップでの講習（左端が田中さん）。交差点事故パターンも張り出して活用。

また、同社では全車にドライブレコーダーを設置。ヒヤリハットの内容と併せて、パソコンで画像をみてもらい、各ドライバーへの安全意識向上に役立てています。「ドライブレコーダーで実際の画像を見せながらの指導は結構効果的ですよ」と運行管理者の田中督人さん。

健康診断は長距離のドライバーは年2回、そのほかのドライバーも年1回は近くの病院で受診しています。

Pictures of the year 2016

～2016年の写真より～

－ 2月号 －
第31回物流セミナー



－ 6月号 －
熊本地震の被災地へ
緊急救援物資を輸送



－ 7月号 －
ラッピングトラック
出発式



－ 11月号 －
トラックの日
PR活動



奈良県社会福祉協議会へチャリティ募金を寄付 ダンプ部会

日時：平成28年11月28日(月) 午後1時30分～
場所：社会福祉法人奈良県社会福祉協議会（橿原市大久保町）

奈良県トラック協会ダンプ部会（清水益成部会長・37社）が、11月2日に開催された第11回チャリティを兼ねた親睦ゴルフコンペで参加者から募った寄付金を奈良県社会福祉協議会へ寄付しました。

山口滋副部会長は「社会福祉のために今後も継続していきます。」奈良県社会福祉協議会山田事務局長は「地域福祉の発展のために、大切に活用させていただきます」と謝意があり、同協議会会長である荒井正吾知事（奈良県中央善意銀行頭取）の感謝状が山口副部会長に手渡されました。



▲山田享子事務局長（写真右）



2016 Back Number

平成28年発行の「トラック奈良」

■下記表示は「今月のTOPICS」



「壺阪寺」

■第1回 IATSS国際フォーラム (GIFTS)シンポジウム



「廣瀬神社 砂かけ祭り」

■第31回物流セミナー



「東大寺」

■優秀運転者顕章伝達式・優良事業所表彰式
■過積載防止の啓発活動を実施



「ソメイヨシノ」

■第26回奈良県貨物自動車運送適正化事業実施機関協議委員会



「奈良公園」

■各地域における春の交通安全県民運動



「東大寺 二月堂」

■第43回定時総会
■熊本地震の被災地へ緊急救援物資を輸送～非常食セットと衛星携帯電話を持参～



「特別公開赤ちゃん鹿 鹿苑(ろくえん)」

■トラック運送事業者のための人材確保セミナー
■ラッピングトラック出発式



「東大寺 二月堂」

■平成28年度交差点事故防止マニュアル活用セミナー



「若草山」

■法令遵守セミナー



「萩の元興寺」

■農林水産大臣からの感謝状受賞について



「猿沢池より興福寺五重塔を望む」

■「トラックの日」PR活動



「平城宮跡 大極殿」

■奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会
■奈良県近畿府県合同防災訓練

「トラック奈良」の各月内容は、ホームページでご覧いただけます。 <http://www.narata.or.jp>

奈良県トラック協会

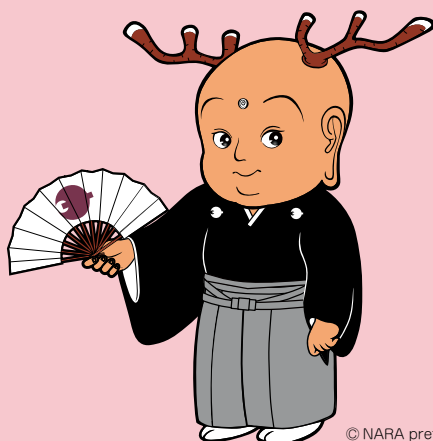
検索

〈1月号・2月号〉写真提供：一般財団法人奈良県ビジターズビューロー

トラック奈良 2017年1月 第273号

発行 公益社団法人 奈良県トラック協会

奈良県大和郡山市額田部北町 981 番地の 6 編集発行人 森本万司
TEL.0743-23-1200 (代) FAX.0743-23-1212 編集委員長 鳥山幸男



© NARA pref.

第32回 国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会
2017.9.1～11.30開催